

政策整理番号 26

評価シート(B)

対象年度	H17	作成部課室	環境生活部生活・文化課	関係部課室	教育庁生涯学習課, 文化財保護課
------	-----	-------	-------------	-------	------------------

政策番号	3 - 8 - 1	政策名	地域の誇りとなる文化・芸術の保存や振興
------	-----------	-----	---------------------

施策番号	2	施策名	美術や演劇など文化・芸術活動に親しむための環境づくり
------	---	-----	----------------------------

A - 3 - 1 施策の有効性:規則 § 6 3号

有効	概ね有効	課題有
----	------	-----

【政策評価指標達成状況から】概ね有効
 ・指標名: 県立文化施設への入場者数と芸術文化事業への参加者数(主催事業参加者数)
 ・達成度: B(指標仮目標を未達成であるが, 増加基調にある。)
 【県民満足度(政策)から】課題有
 ・重視度(中央値)は70点と高いものの, 満足度(中央値)は, 50点で, 同60点以上の回答者の割合が44.1%となっており課題がある。
 【社会経済情勢を示すデータの推移から】概ね有効
 ・日常生活の中で, 優れた文化芸術を鑑賞したり, 自ら文化活動を行ったりすることは, 大切だと思うか聞いたところ, 「大切だ」とする者の割合が86.2%で, 平成8年の前回調査の92.1%からは低下しているが, 大切だと考えている国民が大多数である。(「非常に大切だ」31.2% + 「ある程度大切だ」55.0%), 「大切ではない」とする者の割合が10.5%(「あまり大切ではない」8.5% + 「全く大切ではない」2.0%)となっている。(世論調査報告書/平成15年11月調査/内閣府大臣官房政府広報室)

【総括】
 ・政策満足度は低く, 指標も達成できなかったが, 指標自体は増加基調にあり, 施策の有効性が確認されることから, 「概ね有効」とした。

施策を構成する事業の事業番号と種別

事業番号	種別	事業名	事業番号	種別	事業名
1	主	みやぎ県民文化創造の祭典開催事業	6		
2			7		
3			8		
4			9		
5			10		

主:宮城県総合計画第 期実施計画に掲載されている「主要事業」 重:重点事業のうち主要事業以外の事業

B - 1 施策実現にむけた県関与の適切性と事業群設定の妥当性:規則 § 6 1号, 4号

適切	概ね適切	課題有
----	------	-----

【国, 市町村, 民間団体との役割分担】概ね適切
 ・(国)文化芸術基本法や文化芸術創造プランに基づく国内的な施策の策定・実施, 全国的な団体との連絡調整
 ・(県)文化芸術振興ビジョンに基づく県内の総合的な施策の策定・実施, 関係団体との連絡調整
 ・(市町村)地域に根ざした文化芸術活動の支援
 ・(民間団体)当該団体の目的に応じた文化芸術活動の実施, 支援
 【施策目的を踏まえた事業か】概ね適切
 ・県ゆかりのアーティスト等が事業を通じて, 多くの県民に優れた活動を紹介することができた。
 ・県民のより多く人が文化芸術に接する機会を得た。
 ・より多くの県民がその文化芸術活動の成果を発表する機会を得た。
 ・優れたアーティストを招聘して, アーティストや県民に対して文化芸術活動の拠点としてのサービスを提供することができた。
 【事業間で重複や矛盾がないか】適切
 ・市町村等それぞれの役割分担で事業を実施しており, 重複や矛盾はない。
 【社会経済情勢に適応した事業か】概ね適切
 ・ライフスタイルの変化やいわゆる団塊の世代の人材の現役引退等により, 県民の行う文化・芸術活動も今後ニーズが増え, 多様化することが予想され, 文化芸術活動に触れる機会や活動の発表の場を設けることにより, 県内の活動が飛躍的に拡大することが期待される。
 【施策重視度と満足度のかい離が大きいか】(事業の必要性)課題有
 ・満足度50で低いが, 重視度は70と高く, 県民の期待の大きさがうかがえる。

【総括】
 ・施策目的や社会経済情勢に沿った事業である。
 ・かい離度が大きいのが, これは文化芸術施策への期待が高まっている現れと考える。予算的な面で制約があるので, 関係者の意見をききながら, 開催手法をより工夫して実施していく。

施策番号	2	施策名	美術や演劇など文化・芸術活動に親しむための環境づくり
------	---	-----	----------------------------

B - 2 事業群の有効性:規則 § 6 2号

有効	概ね有効	課題有
----	------	-----

【施策満足度から】課題有
 ・満足度(中央値)は、50点と中位だが、同60点以上の回答が43.7%と低位なため、満足度を高める点で課題有り。
 【政策評価指標達成状況から】概ね適切 「政策評価指標分析カード(4)ア」から抜粋
 ・県立文化施設への入場者数と芸術文化事業への参加者数は、平成17年の仮目標値をほぼ達成した。
 ・文化芸術に関する各施策は、県民の多様な価値観に対し、短期的には県民満足度調査結果に反映しにくいと思われ、政策評価指標と県民満足度調査の今後の推移を見守る必要がある。
 【社会経済情勢を示すデータの推移から】概ね適切
 ・日常生活の中で、優れた文化芸術を鑑賞したり、自ら文化活動を行ったりすることは、大切だと思うか聞いたところ、「大切だ」とする者の割合が86.2%で、平成8年の前回調査の92.1%からは低下しているが、大切だと考えている国民が大多数である。('非常に大切だ'31.2% + 'ある程度大切だ'55.0%)、「大切ではない」とする者の割合が10.5%('あまり大切ではない'8.5% + '全く大切ではない'2.0%)となっている。(世論調査報告書/平成15年11月調査/内閣府大臣官房政府広報室)
 【業績指標推移から】概ね適切
 ・主催事業の開催会場数は増加傾向にあり、概ね適切と判断した。
 【成果指標推移から】概ね適切
 ・事業が定着し県民の支持を得た結果、入場者数が増加している状況から、その成果が政策評価指標に現れているものと思われる。費用対効果において高い効率性が認められる。

【総括】
 概ね有効と判断するが、価値観の多様化により、県民の文化・芸術活動への取り組み方も高度化・多様化しており、事業の展開についてはそのような状況に対応していく必要がある。

B - 3 事業群の効率性:規則 § 6 3号

効率的	概ね効率的	課題有
-----	-------	-----

【政策評価指標達成度 業績指標・成果指標】概ね適切
 ・事業が定着し県民の支持を得た結果、入場者数が増加している状況から、その成果が政策評価指標に現れているものと思われる。費用対効果において高い効率性が認められる。
 【社会経済情勢データ 業績指標・成果指標】該当なし
 【事業費に対する業績指標の割合(効率性指標)が適切か】概ね適切
 ・予算的に制約を受けつつも、入場者数等の増加がみられたことから、概ね効率的といえる。

【総括】
 ・各事業は効率的に実施されており、入場者数等の増につながった。事業群は施策の目標に対して概ね効率的であると思われる。

B 施策評価(総括):規則 § 6

適切	概ね適切	課題有
----	------	-----

・B-1事業の重複や矛盾は無く、各主体の役割分担も出来ている。
 ・B-2満足度は低いが、入場者数等の増加が見られる。さらに満足度を高める事業を行う必要がある。
 ・B-3成果指標である入場者数等が増加基調にあり、概ね効率的に事業が展開された。
 以上B-1～3を総合的に判断し、「概ね適切」と判断した。

政策整理番号 26

事業分析カード(業績)

対象年度	H17	作成部課室	環境生活部生活・文化課	関係部課室	教育庁生涯学習課, 文化財保護課
政策番号	3 - 8 - 1	政策名	地域の誇りとなる文化・芸術の保存や振興		
施策番号	2	施策名	美術や演劇など文化・芸術活動に親しむための環境づくり		

活動(事業) / 活動(事業)によりもたらされた結果								
事業番号	事業名 【担当課室名】	H17 事業費 (千円)	事業の対象 (誰・何を対象として、具体的に)	事業の手段(内容) (何をしたのか、具体的に)	業績指標名 (事業の活動量、「事業の手段」に対応)	H15	H16	H17
						事業費(千円)		
						効率性指標 (3.5E-02は 3.5×10^{-2})		
1	みやぎ県民文化創造の祭典開催事業【生活・文化課】	23,525	アーティスト、県民	・県ゆかりのアーティストや国内外で活躍する文化芸術関係者の優れた活動を紹介。 ・県民に文化芸術活動成果の発表の場を提供。	主催事業会場数	21	57	63
						25,820	31,812	23,525
						8.1E-04	1.8E-03	2.7E-03
2	[]							
3	[]							
4	[]							
5	[]							
6	[]							
7	[]							
8	[]							
9	[]							
10	[]							
	[]							
	事業費合計	23,525						

施策・事業展開シート(C)

政策整理番号 26

対象年度	H17	作成部課室	環境生活部生活・文化課	関係部課室	教育庁生涯学習課, 文化財保護課
政策番号	3 - 8 - 1	政策名	地域の誇りとなる文化・芸術の保存や振興		
施策番号	2	施策名	美術や演劇など文化・芸術活動に親しむための環境づくり		

C - 1 評価結果から抽出される課題と対応策

【政策評価】施策群設定の妥当性, 施策群の有効性
 ・宮城県文化芸術振興ビジョンが平成17年7月に策定され, 3つの基本方針の下に施策を展開していくこととなった。
 子どものころから一人一人の創造性を育む環境づくり
 文化芸術による地域づくり
 文化芸術で世界とつながる環境づくり
 ・本政策は上記ビジョンの基本方針を踏まえて, こどもに対する鑑賞機会の提供や住民参加型演劇上演のような形で施策を展開していくことから, 政策目的たる文化芸術振興条例の基本理念実現に向けて有効な手段と判断される。
 【施策評価】事業群設定の妥当性, 事業群の有効性, 効率性
 ・県民満足度調査結果では, 満足度が50で, 重視度が70で, かい離が大きい。県民の文化芸術振興事業に対する期待が高度化しており, 県として芸術文化への一層の積極的な取組が必要である。

C - 2 施策・事業の方向性

施策の次年度(H19年度)の方向性とその説明

方向性	拡充	維持	縮小
-----	-----------	----	----

【方向性の理由】
 ・住民との協働による行政運営を目指す県や市町村にとって, 地域社会の活性化が課題となっている。地域の祭礼, 伝統行事, 住民の地域に根付いた創作活動等は, 地域住民の結びつきを強め, 地域間交流を生み出すものであることから, 本県においては, 文化芸術の力で地域社会を活性化させる必要がある。

【次年度の方向性】
 ・次年度は, 地域文化及び県民の文化芸術活動の持つ力をそれぞれの地域の活性化につなげるために, 教育分野, 観光分野等他分野においても文化を念頭に置いた施策を, これまで実施してきた事業に加え, さらに推進していく必要がある。例えば, 子どもの文化芸術活動を活かした地域づくり, 文化芸術を活かした産業, 観光による地域づくり, 文化芸術施設等を核とした地域づくりなど。

主要事業・重点事業の次年度(H19年度)の方向性とその説明

事業番号	種別	事業名	H17決算見込額(千円)	方向性	方向性に関する説明
1	主	みやぎ県民文化創造の祭典開催事業	23,525	拡充	・宮城県文化芸術振興ビジョンを踏まえ, 積極的な県民参画等を主眼に県内外で活躍している芸術家等に対する発表機会の提供や県民の文化に対する気運の高揚を図るとともに, 地域づくりの視点を踏まえた事業の展開を図る。
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
		合計	23,525		